

21 世紀東アジア青少年大交流計画

(英文名 : JENESYS Programme)

Japan - East Asia Network of Exchange for Students and Youths

平成 19 年 (2007 年) 1 月 15 日フィリピンで開催された第 2 回東アジア首相会議において、大規模な青少年の交流を通じてアジアの強固な連帯にしっかりした土台を与え、との観点から日本政府により実施された事業です。平成 19 年から 5 年間毎年 6000 人程度の青少年を日本に招き、相互の理解と友好関係の促進を目的とした交流プログラムです。

目的 :

- (1) 地域共有の将来のビジョンを作り、アジアの強固な連帯の土台を作る。
- (2) 青少年の相互理解の促進を図り、アジアでの良好な関係を作る。

概要 :

東アジア首相会議参加国 (中国、韓国、ASEAN、インド、オーストラリア、ニュージーランド等) の高校生、大学生を中心とする青少年を今後 5 年間、毎年 6000 人程度日本に招聘。(短期滞在、中長期滞在) 費用は、国の予算で支出予定。

中国訪日団第 1 陣 (202 名) 5 月 30 日 ~ 6 月 7 日 **高校訪問日 6 月 1 日 (金) 午後**

日本滞在の内容は、都内視察 (外務省訪問、東京タワー、浅草、江戸東京博物館、本所防災館、お台場等) 地方視察 (工場、福祉施設見学、ごみ処理施設見学、高校訪問、ホームステイなど) 等です。その中の

< 訪問校 >

都立成瀬、都立神代、都立杉並総合、都立工芸、都立富士、都立国分寺、都立洲江、文京女子学院大付属、お茶の水女子大付属 (以上 9 校)

プログラムは各校ごとに異なりますが、5・6 時限の授業の参加など (英語の授業参加、

実技系の授業参加などや放課後は、部活動参加、伝統芸能の披露、武道の披露、生徒同士の交流、ポップカルチャー紹介などがありました。

訪問人数は、生徒20名程度、引率の教師等3名程度、生徒の男女比は概ね4：6、通訳2名くらい、生徒は英語で一生懸命会話していました。

**中国訪日団第4陣(200名分) 9月17日~9月25日 高校訪問日 9月19日(水)午後
都立総合工科、都立杉並総合、都立多摩工業、都立田無工業、都立瑞穂農芸、明治学院
東村山、品川エトワール女子、トキワ松学園、筑波大学附属**

今回は、財団法人日本国際協力センター（JICE）の実施事業に協力する形で行いました。以下、都立成瀬高等学校の交流の報告です。

21世紀東アジア青少年大交流計画(日中21世紀交流事業)

中国高校生訪日団第1陣 ~ 中国高校生との交流会 ~

都立成瀬高校 佐藤 公作

本校では、6月1日(金)午後、財団法人日本国際協力センター（JICE）からの紹介により、中国高校生20名(男女各10名)及び引率の先生3名を受け入れ、交流しました。

当日は、櫛祭体育部門のため、交流プログラムは以下の4つを計画しました。

体育祭見学と参加(綱引き)

校舎案内

部活動交流(茶道・吹奏楽・ダンス)

生徒会執行部との懇談

前日雨のため、体育部門の予定が遅れ、部活動交流は残念ながら茶道体験だけとなってしまいました。綱引きでは、本校側が2戦2敗でした。体育祭中ではありましたが、担当生徒が校舎を案内しました。体育祭が大幅に遅れ、時間が十分取れない中、視聴覚教室で行った懇談会は、高校生活や恋愛などについて、話し合い、相互に理解を深めることができました。懇談会の最後には、双方から挨拶があり、中国高校生一人一人に、思いを込めたお土産を渡しました。

別れは名残惜しく、再会を期待しつつ、思い出の集合写真をパチリ。有意義な交流となりました。



懇親会での集合写真



交流会のスナップ写真



体育祭で、綱引きをしました。結果は中国側2戦2勝



再会を願ってサヨナラ